

二〇二二年度入学試験

国語試験問題

注意事項

- 一、指示があるまで開かないこと。
- 二、問題は十六ページである。万一、落丁などがある場合は直ちに申し出ること。
- 三、解答用紙は解答用紙A(マークシート)と解答用紙B(記述式)の二種類である。
- 四、解答はすべて解答用紙に記入すること。
- 五、解答用紙には座席番号、氏名を忘れずに記入すること。
- 六、解答用紙A(マークシート)の記入にあたっては、次の事項について注意すること。
 - ・ HBの鉛筆またはマークシートペンを使用すること。(シャープペンシルは不可)
 - ・ 解答用紙に記載の「記入上の注意」をよく読んでから記入すること。
- 七、試験問題は持ち帰ること。

— 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。解答は、解答用紙A(マークシート)に記入しなさい。(1)(2)の文章は、いずれも太田肇著『同調圧力の正体』からの抜粋である。

(1)

コロナ禍のもとでは「自粛警察」や「マスク警察」が人びとに恐れを抱かせた。しかし海外のように不要不急で外出したからとか、マスクをつけていなかったからといって連行されたり、罰則を科されたりするわけではない。東日本大震災の後に登場した「不謹慎狩り」や、もつと遡れば戦時下における「ぜいたくは敵だ」「パーマネントはやめましょう」といったスローガンも同じである。

つまり自粛にしても、謹慎にしてもほんとうの意味の強制ではないのである。を感じさせるのは、何らかの心理的要因が働いているからだと考えられる。

X

、それがあある意味で強制に近い圧力

そこで少し視点を変え、個人の心理面から同調圧力を分析してみよう。

私はこれまでの研究で、人間のさまざまな欲求の中で承認欲求、すなわち周りから認められたい、そして自分の価値を認めたいという欲求がいかに強いかを明らかにしてきた。なお、それは積極的に「認められたい」という思いとなつてあらわれる場合もあれば、「承認を失ってはならない」という消極的な感情としてあらわれる場合もある。

ここで念頭に置くべきなのは、やはり私たちが共同体という環境の中にいるという現実である。

閉鎖的な共同体では外部の人びとに接する機会が少なく、たとえ接する機会があつたとしても比較的、重要度が低い。したがって自分を認め、承認欲求を満たしてくれる存在は共同体の内部に限定される。共同体の中で認められることが圧倒的に重要なのである。社会学では自分の価値観や態度に影響を与える集団のことを「準拠集団」というが、多くの日本人にとって属する共同体こそが準拠集団になっているといつてよい。

そして閉鎖的な集団の中では、承認もまた「ゼロサム」^{*1}の原理に支配される。だれかが高い評価を受けると、だれかがその

〔P〕を〔Q〕。注目される人がいれば、その陰に隠れてしまふ人がいる。そのため互いに牽制し合い、「出る杭」は打たれる。他人の活躍や成功を嫉妬するのも、突き詰めればそこに「ゼロサム」の原理が働いているからである。

その結果、優れた能力を発揮したり、大きな実績をあげたりして認められるより、分に甘んじ、和を乱さないことで認められる傾向が強くなる。私は前者を〔A〕の承認」、後者を〔B〕の承認」と呼んでいる。わかりやすくいえば加点主義と減点主義に近い。大小の共同体が入れ子状態になっている日本社会では、あらゆる組織や集団で〔C〕の承認」より、

「〔D〕の承認」が重視される。「〔E〕承認社会」と呼んでもよい。「〔F〕の承認」が得られるのは、何らかの形で共同体の利益に貢献したときだけだといっても過言ではない。

したがって人びとは、周りから白い目でみられたり、後ろ指をさされたりして承認を失わないために周囲に同調する。さらに自ら進んで空気に従い周囲に同調することで承認を得ようとする。それが同調行動をエスカレートさせるのである。自ら進んでサービス残業するのも、感染の心配がないとわかっていてもマスクをつけてジョギングに出かけるのも、背後には承認欲求が働いていると考えられる。

しかし、行動の原動力が承認欲求だけなら適当なところでブレーキがかかるはずだ。遅くまで残業すれば家庭生活にしわ寄せがいくし、会社に忠誠を尽くせば尽くすほど社外の人とのつき合いは難しくなる。マスクをつけながら運動すると息苦しく、夏場は熱中症のリスクも高くなる。そのため同調圧力に従うか、抗うかで葛藤に陥る。そして極端な同調行動は思い止まる。

〔Y〕、共同体主義はそのブレーキを外してしまう。そのメカニズムを、社会心理学の「認知的不協和の理論」を使って説明しよう。

人は心の中に矛盾(不協和)を抱えていると不快であり、それを解消しようとする。たとえば喫煙者にとってタバコが有害だという情報は不快である。ましてタバコを吸う人は吸わない人に比べて平均寿命が一〇年も短くなるなどと聞けば、平静ではいられなくなる。そこで取りうる行動は、タバコをやめるか、喫煙のメリットを示すような情報を探すか、あるいは「早く死んでもかまわない」と開き直るかのいずれかである。かりに自分は絶対に禁煙できないと思えば長生きを諦めるか、喫煙の効用を裏づ

ける情報を必死で探すだろう。逆に長生きしたいのに医者から「このまま喫煙を続けたら早死にする」といわれたら、真剣に禁煙に取り組むだろう。

これを同調行動に応用してみよう。不本意ながらも周囲に同調した行動を取っている人にとって、イデオロギーとしての共同体主義は自分の行動を正当化するかっこの後ろ盾になる。理屈抜きで協調した行動を取らなければならないからである。^②それによって不協和は解消される。

さらに自分の意思で行動すれば、それが既成事実となつて反対方向の意思や感情はいつそう弱くなる。「案ずるより産むが易し」といわれるのも、一歩を踏み出せば吹っ切れるのも、そのことを物語っている。

すでに述べたようにQCサークルなどの小集団活動では、実質はともかく建前上は自主的活動とされ、社員の自主性が重視された。自分の意思で参加していると思うことで、活動が「自分事」になるのだ。いったん自分事になれば心の迷いや葛藤は消え、行動にブレーキはかからなくなる。それが結果として多面的な思考や、内省の機会を奪うことにもなりかねない。

いわゆるスピリチュアル系団体の教育や一部新興宗教の布教活動には、このような人間の心理が巧みに取り入れられている。さらに「自立型社員」の育成を看板に掲げる社員教育にしても、主体性を尊重する学校教育にしても、もし何らかの思想やイデオロギーが背後に隠れていたら、社員や子どもたちを一方向へ無批判に突き進ませる危険性がないとはいえない。

こうしてみると^③同調圧力の源は自分自身の内面にもあるということ、そしてそこでも共同体主義が強く後押ししていることがわかる。

(2)

本書では既存の政治思想や社会科学上の概念にこだわらず、共同体主義を「感情的にも、理念としても共同体を望ましいものとしてとらえ、共同体を積極的に維持・強化しようとする価値観」と定義する。

単なる「共同体意識」とイデオロギーとしての「共同体主義」の境界には若干のグレーゾーンがあるにしても、その間にはかなり

濃い線を引ける。たとえば共同体の一員としての役割を自覚し、そこへ帰属して精神的安らぎや共同の利益を得ようとするのは共同体意識である。いっぽう「全員一丸」**「絆」といった言葉を** **Z** のごとく唱え、メンバーの一致団結そのものを何より最優先するのは共同体主義だといえる。共同体の論理に対する批判や異論に耳を貸さず、ときには公然と、ときには隠然と排除・抑圧するのもイデオロギーとしての共同体主義である。

そもそも共同体とそのメンバーとは全面的に利害が一致するわけではないし、メンバーの間でも利害の対立は生じる。当然ながら共同体といえども一枚岩ではないのだ。にもかかわらず強引に共同体へ同一化させようとするところに、共同体主義の根本的な問題があるといえよう。

この共同体主義こそが、同調圧力の正体だったと考えられる。かりに多くの論者のように同調圧力は日本特有の風土や文化の所産だという見方をするなら、その風土や文化の核心が共同体主義かもしれない。しかし共同体主義そのものが直接、同調圧力をもたらしているわけではなく、日本特有の仕組みをとおして圧力がかけられていること、すなわち「閉鎖性」「同質性」「個人の未分化」を特徴とする共同体型の組織や社会が媒介しながら圧力を加えていることを見逃してはいけない。

*1 ゼロサム……zero-sum。一方が利益を得たら、もう一方は同じだけの損をし、全体としてはプラスマイナスゼロになる。

*2 QCサークル……QCは、quality control(品質管理)の略。職場内で自発的に集まった小人数の集団が、製品・サービスの品質管理や改善、不良品の低減、安全対策などに取り組むこと。

問一 空欄 **X**、**Y** に入ることばとしてもっとも適切なものを次のア～カから一つずつ選び、記号で答えなさい。

い。解答は、解答用紙A(マークシート)に記入しなさい。

- ア なぜなら イ そのため ウ ところが エ しかも オ にもかかわらず カ つまり

問二 空欄〔 P 〕、〔 Q 〕に入る単語を次のア～コから一つずつ選び、もつとも適切な慣用句を作りなさい。解答は、

解答用紙A(マークシート)に記入しなさい。

- | | | | | |
|------|------|-------|------|-------------------------|
| ア 鼻 | イ 裏 | ウ 割 | エ 足 | オ 煽り <small>あほり</small> |
| カ くう | キ おる | ク うける | ケ かく | コ ひっぱる |

問三 空欄〔 A 〕、〔 F 〕には「表」「裏」のいずれかが入る。空欄〔 A 〕、〔 F 〕に入る組み合わせとしてみ

とも適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。解答は、解答用紙A(マークシート)に記入しなさい。

- | |
|---------------------------|
| ア A 裏 B 表 C 裏 D 表 E 裏 F 表 |
| イ A 裏 B 表 C 裏 D 表 E 表 F 裏 |
| ウ A 表 B 裏 C 表 D 裏 E 表 F 裏 |
| エ A 表 B 裏 C 表 D 裏 E 裏 F 表 |

問四 傍線部①「行動の原動力が承認欲求だけなら適当なところでブレーキがかかるはずだ」とあるが、その理由としてもつとも

適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。解答は、解答用紙A(マークシート)に記入しなさい。

- ア 一定の限度を超えると、同調圧力に従うことが苦痛になり、承認欲求をあきらめざるを得なくなるから。
- イ 承認欲求に基づいた同調圧力に耐えられる限度は、精神的にも肉体的にも人それぞれ決まっているから。
- ウ 「認知的不協和の理論」に基づき、承認欲求を放棄することが不協和を容易に解消できる方法だから。
- エ イデオロギーとしての共同体主義によって多面的な思考や内省の機会が奪われるということがないから。

問五 傍線部②「それによって不協和は解消される」とあるが、不本意ながらも周囲に同調した行動をとっている人の不協和は、どのようにして解消されるのか、その説明としてもっとも適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。解答は、解答用紙A(マークシート)に記入しなさい。

ア 共同体主義というイデオロギーによって、行動に伴う思考が停止し葛藤を感じなくなり、不協和の状態から解放される。

イ イデオロギーとしての共同体主義によって、同調行動の根拠を考える必要がなくなり、矛盾を抱えた状態でなくなる。

ウ 共同体主義というイデオロギーによって、とるべき行動の選択肢が限定されるため、矛盾を抱えた状態から解放される。

エ イデオロギーとしての共同体主義が、同調行動の後ろ盾として正当化されることによって、不協和の状態でなくなる。

問六 傍線部③「同調圧力の源は自分自身の内面にもある」とは、どういうことか。その説明としてもっとも適切なものを次の

ア～エから選び、記号で答えなさい。解答は、解答用紙A(マークシート)に記入しなさい。

ア 自らの意思で行ったという意識によって、自分の行動を客観的、批判的に考えにくくなり、同調行動をとることになる。

イ 同調圧力は、他者から強制される共同体主義によってではなく、自分事としてとらえることによって生じるものである。

ウ 同調圧力は、イデオロギーとしての共同体主義によってだけではなく、ひとりひとりの迷いや葛藤によっても生じる。

エ 同調した行動を自らの意思で行ったととらえることも、背後にあるイデオロギーを見えにくくすることにつながっている。

問七 空欄 Z に入る「自分の主義や主張、立場の絶対的なよりどころになる思想や信条」という意味の四字熟語として

もつとも適切なものを次のア～カから選び、記号で答えなさい。解答は、解答用紙A(マークシート)に記入しなさい。

ア 大義名分 イ 綱紀粛正 ウ 金科玉条 エ 一意専心 オ 後生大事 カ 初志貫徹

問八 次の1～4の中で、本文の内容と合っているものにはア、そうでないものにはイで答えなさい。解答は、解答用紙A(マークシート)に記入しなさい。

- 1 コロナ禍の日本で、「自粛警察」や「マスク警察」が強制に近い圧力を人々に感じさせるのは、同調圧力という心理的要因のためである。
- 2 閉鎖的な集団の中では、承認が「ゼロサム」の原理に支配されているため、人びとは自ら進んで同調行動をとるようになる。
- 3 共同体の論理に対して、メンバーが批判したり反論したりすることを認めないという態度は、共同体意識に基づく行動ではない。
- 4 同調圧力は日本特有の風土や文化が生み出したものであるという考え方を多くの人が持っているが、筆者はこれを否定している。

二 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。解答は、解答用紙A(マークシート)に記入しなさい。

僕は「ゆるスポーツ」の第一発見者ではありませんが、決してリーダーではないと思っています。というのも、僕自身この生態系がどう転がって、どう成長していくかわからないからです。

僕がやったことといえば、本でたとえるなら、まず「ゆるスポーツ」というタイトルをつけた。そして、序章を書いただけ。

「ゆるスポーツとは、老若男女健障、だれもが楽しめるスポーツです。目指しているのは、スポーツ弱者をなくすこと。この世界から、スポーツが苦手な人が減って、みんなが日常的にスポーツを楽しめる世界があったなら、どんなに素晴らしいことでしょう。そんな世界を一緒に作りませんか?」

X、本が第1章、第2章、と続いていくならば、その内容は決まっていない。むしろわからない。だから、「どんなスポーツがあったらおもしろいと思いますか?」「スポーツ嫌いがいない世界って、どんな景色が広がっていると思いますか?」と問いかけながら、多くの人を巻き込んでいくんです。

生態系をつくるときに大事なのは、ほかの人が^Aほとんど介在できるような「間」をつくっておくこと。するとそこに新しい空間や時間、仲間が生まれていく。

つくって終わりのクリエイティブではなく、つくって始まるクリエイティブこそが、生態系をつくる心得です。

「そんなこと言ったって、生態系なんてどうやってつくるの?」「むずかしそう……」。

というわけで、「生態系をつくるフレームワーク」というものをつくりました。これは言い換えるなら、この本のタイトルにもなっている「マイノリティデザイン」のフレームワークでもあります。

あなたがもし、運命の課題を、才能のスライド先を探しているのであれば、ぜひ一度試してみてください。

それが、「PPPPPP(ピーピーピーピー)」というフレームです。

・ピンチ(Pinch)の発見

Y、Y、「ピンチ」の発見から始まります。それも、a 的な「少子高齢化」とか「国内市場縮小」とかではなく、もっともっと「個人的」なもの。「マイナー」なものでもいいです。僕の場合、それは「息子が視覚障害者」であり「自分がスポーツ弱者」ということでした。

反対に、どこかで聞いたことのあるような課題なら、すでにほかのだれかがさんざん考えている可能性が高いわけですから、もう自分がやる必要はありません。どんなにミクロでニッチでも、ほぼ手つかずのピンチが見つかれば万々歳です。

それは、「新しいマイノリティ」を可視化することにほかなりません。「数字に弱い」は「数字弱者」だし、「掃除が苦手」は「掃除弱者」。Bピンチの発見とは、マイノリティの発明でもあるんです。

・フィロソフィー(Philosophy)の構想

ピンチを発見したら、次は「フィロソフィー」。ピンチを解決するために、プロジェクトメンバーで共有すべき意識や価値観。みんなが心にもっておくべき「合言葉」。ゆるスポーツでいえば、「スポーツ弱者を、世界からなくす。」という言葉がそれにあたります。

「人類を幸せに」みたいなb 度が高すぎる言葉でもなく、「テクノロジーで社会を豊かに」みたいなだれでも言える言葉でもなく、「C自分が積極的に関わりたくなるような、具体的な未来」を言葉にする。そうであればあるほど、「そういう未来があったのか!」「おもしろそう!」「自分もなにか力になりたい」と、多様な仲間が集まってきて、のちに素晴らしい生態系が生まれる可能性が高くなります。

・プラットフォーム(Platform)の構築

その後で、ピンチを解決するための「プラットフォーム」をつくります。

なにか課題を解決しようとする際、僕は単発のアイデアを考えようとしてしまいがちです。でも、たとえば「ハンドソープボール」というスポーツ一つだけでは、「へー、おもしろいスポーツがあるんだね」で終わっていたでしょう。

c

的なアイデアではなく、より長期的かつ広い視野で、あらゆる課題や情報を包み込むことができる器をつくる。

「ゆるスポーツ」というプラットフォームがあるから、ベビーバスケットやイモムシラグビーといった多様な競技、そしてさまざまな企業や自治体を連続的に巻き込める。すると、ピンチの数だけ新しい競技が生まれ、どんどん広がっていきます。

また、プラットフォームに最適な名前をつけることも大事です。【中略】

- ピクチャー(Picture)を描く

ビジネスマンであれば当たり前の話ではあるんですが、持続可能な計画を練っておきましょう、という話です。緻密な事業計画でなくとも、ラフなメモでいいです。

ゆるスポーツの場合、スポーツをスポーツ発展のためのコンテンツではなく、「あらゆる課題解決のための、汎用性のある道具」として捉えました。

たとえば、スポーツを「薬」と定義すると、医療領域に展開できる。スポーツを「教育アイテム」と定義すると、教育領域にも広げられる。スポーツ業界の国内市場規模は約5兆円ですが、スポーツ領域以外にスポーツの力を使う、という前提で計画を練ることで「これは長期的に取り組みそうだ」という予想を立てていきました。

- プロトタイプ(Prototype)をつくる

そして忘れてはいけない大事なことが、速攻でプロトタイプをつくること。

僕の場合はそれが、「ハンドソープボール」というギャグみたいなスポーツでしたが、「とりあえず1個つくってみる」は、エンジニアリングやデザインの領域では仕事の基本になっています。つくって見ないと仮説は検証できないし、描いたピクチャー通

りに物事が動くとはかぎりません。だからとにかく手を動かして、まずつくってみるんです。

会社から帰宅して、家の洗面所を占領して、ああでもないこうでもないハンドソープの配合を変え……そんな一見無意味な時間が、その後のすべてのゆるスポーツのロールモデルとなり、そのまた次の競技の誕生につながっていきました。

まとめると、僕はこんな「PPPPP」をつくったんです。

「自分の運動音痴をどうにかしたい」という超個人的なピンチから始まり、「スポーツ弱者を、世界からなくす。」というフィロソフィーを掲げ、「ゆるスポーツ」というプラットフォームをつくり、「スポーツを汎用性ある道具として使おう」というピクチャーを描き、「ハンドソープボール」というプロトタイプをつくった。

企業や個人と話していると、この5つの「P」のどれかが欠けていることで、プロジェクトがうまくいかなかったり、止まってしまっていることが多いことに気づきました。

せっかく素晴らしいアイデアや構想を練ったのに、全然形にしない（**d**をつくらない）。せっかく素晴らしいアイデアや **d** があるのに、単発のアイデアになっていて、**e** 化されていないので次の展開が生じにくい。一見すると最

新のテクノロジーを使ったカッコいいアイデアだけど、よく見るとだれの **f** もそこには含まれていない。

なので、この「PPPPP」フレームは、生態系をつくるときだけでなく、これからの社会に求められる事業構想の際にも役立つフレームだと思います。

（澤田智洋『マイノリティデザイン』）

*ニッチ……「隙間（すきま）」を意味する言葉だが、「大手が狙わないような小規模で見逃されやすい事業領域」を指し、また「小規模で盲点的な」という意味で用いられることが多い。

問一 空欄 、 に入る適切なことばを次のア～カの中から一つ選び、記号で答えなさい。解答は解答用紙 A (マークシート) に記入しなさい。

- ア つまり イ それだけに ウ まずは エ その後 オ 結局は カ それでも

問二 空欄 、、 に入る適切なことばを次のア～カの中から一つ選び、記号で答えなさい。解答は解答用紙 A (マークシート) に記入しなさい。

- ア 抽象 イ 具体 ウ 瞬発 エ 直線 オ 教科書 カ 自由

問三 傍線部 A「ほかの人がどんどんと介在できるような『間』をつくっておくこと」には当てはまらないものを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。解答は解答用紙 A (マークシート) に記入しなさい。

- ア 「個人的」なもの、「マイナー」なものから「ピンチ」を発見すること
イ 聞く人に「自分が積極的に関わりたくなるような具体的な未来」を想像させる「合言葉」をつくること
ウ 長期的かつ広い視野をもつ「プラットフォーム」をつくり、多様なジャンルや組織を巻き込んでいくこと
エ 持続可能な計画を練っておき、当面の領域以外の領域にも広げるようにすること
オ 速やかにプロトタイプをつくり、仮説を検証し、試行錯誤を重ねること

問四 傍線部B「ピンチの発見とは、マイノリティの発明でもあるんです」とは、どういうことか。その説明として適切なものを

次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。解答は解答用紙A(マークシート)に記入しなさい。

- ア ピンチを発見することで、新たなマイノリティの概念を発明することができる。
- イ ピンチを発見することで、マイノリティという存在を発明することができる。
- ウ ピンチを発見することで、新たなマイノリティの存在を発見・発明することができる。
- エ ピンチを発見することで、マイノリティについての新たな意味を発見・発明することができる。

問五 傍線部C「自分が積極的に関わりたくなるような」とあるが、この「ような」と同じ用法のものを次のア～エから選び記号で

答えなさい。解答は解答用紙A(マークシート)に記入しなさい。

- ア 宝石をちりばめたような香港の夜景を見てみたい。
- イ 温暖化対策に貢献できるような技術開発を目指す。
- ウ 奥歯に物が挟まったような言い方をされた。
- エ 誰かが後ろにいるような気がして振り向いた。

問六 空欄 、、 に入る適切なことばを次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。解答

は解答用紙A(マークシート)に記入しなさい。

- ア ピンチ
- イ ファイロソフィー
- ウ プラットフォーム
- エ ピクチャー
- オ プロトタイプ

問七 次の1～4の中で、この文章の内容に合っているものにはア、違っているものにはイで答えなさい。解答は解答用紙A

(マークシート)に記入しなさい。

- 1 筆者は「ゆるスポーツ」の第一発見者ではあるが、主体的にそれに関わっていたわけではない。
- 2 筆者はある種の「生態系をつくるフレームワーク」を作り、それを「事業構想」の際にも役立つものにした。
- 3 「フィロソフィー」とは、みんなが心を持っている価値観や「合言葉」のことである。
- 4 「プロトタイプ」をつくり、仮説を検証して、試行錯誤を繰り返すことが非常に重要である。

三 次の a ㄱ e のカタカナを漢字に直しなさい。

ゲン^a 楽器や管楽器なら、演奏するとき自分で音の高さを変えることができる。たとえば、短調のドミソ——ミはフラット——であれば、ミを心持ち高めにする。そうすることでカン^bペキ^cなハーモニー^dが生まれる。ただし、そのためには、そのミが、どの調性で、どの和音の、何番目の音なのか、ハ^cア^cク^cしていなければならぬ。さらにそれを楽器でヒ^dキ^d分ける技術も必要だ。理論としては僕にもわかるが、そんなふうに演奏するのがナ^eミ^eタイ^eテイ^eのことではないこともわかる。

(宮下奈都『羊と鋼の森』)

四 次の設問に答えなさい。

問一 次の文を、意味を変えずに異なる接続語を使って、三つの文に分けて書きなさい。接続語以外に必要な語を補ってもかまわない。

電子メディアの浸透は、人々の読み方にも影響を与えており、斜め読みや拾い読みは大幅に増え、注意力を持続させる読みや精読は減少し、深く考えながら読む力を身につけることが難しい環境を作ってしまったのである。

問二 次の文章から、文の構造(係り受けや、主語と述語の対応など)が適切ではない文の番号を一つ指摘し、適切な表現に変えなさい。

①われわれは紙媒体で文章を読む時、文章に触れながら読んでいる。②特に、難しい内容を読み解いたり、内容を批判的に読んだりするときは、文章を指でなぞったり筆記用具で印をつけたりしながら読むことが多い。③紙媒体の文章に触れることを禁じた読解実験の結果は、文章に「触れる」という行為が制限されると、文章との間に距離を感じ、読みの理解度が低下することがわかった。④PCやタブレットの画面上で読む文章が理解しにくいように感じられる理由のひとつとして、文章への接触が制限されてしまっていることがあげられる。